

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

法人名	メディカル・ケア・サービス関西株式会社	事業所名	愛の家グループホーム姫路下手野
所在地	〒670-0063 兵庫県姫路市下手野4丁目7番12号		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	住み慣れた地域で持てる力を活かし家庭的な生活を送る。			—
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	地域活動には参加出来ていない。	地区のお祭りなど自治会から案内がある。参加は難しいが認知症の高齢者が住む施設がある事は共有している。		今後の課題
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	事業所の取り組みを報告ご家族の参加は少ないが意見を頂く事は多く参考になっている。	運営推進会議で地域包括担当者よりいつも助言を頂いている。		—
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	☐ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	相談や問い合わせがあった場合に連絡を取る程度であるが連携が取れず困るというような事はない。	市からの研修などの案内に参加出来れば良いのだが中々タイミングが合わない。		今後の課題

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	3カ月に一回のチェックシートの作成や身体拘束廃止委員会の開催を行っている。昨今の不審者の来訪等玄関の世情に関しては利用者の安全を守る意味でも身体拘束に当たらないのではないかなんと言意見もある。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	—
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	5と同様、定期的に確認注意喚起、ホーム内研修も行っている。		☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	—
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修を実施し内容は把握できているが対象者が開設以来入居されていない為実際に触れる機会が無い。			—
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者や計画作成者のみが窓口となっている。職員から集めた情報も踏まえ説明、理解、同意頂けるよう努めている。			—
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	☒ A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主にケアプランの作成時等に踏み込んだ話が出てきている。おおむねホームと家族様との間で完結し外部に発信する機会はないが運営への意見等は事業者側へ連絡出来る体制もっており結果的に現場まで反映できるようなシステムを取っている。		☒ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	—

10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	管理者は常に職員からの声に耳を傾ける努力をしている。職員も相談しやすい環境である。ただ全ての意見が反映できるわけではないので若干の課題もある。			—
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	労基法に基づき運営している。またかいしゃで定められた人員配置を守り労働時間の過剰やストレスのかかるシフト等は起きない様に取り組んでいる。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホーム内研修を実施しており知識に触れる機会はあるが職員の積極性が無い為に育成環境が整っているとは言えない。しかしながら、実務者研修を受ける様に管理者が促す事により本年度は2名、来年度も3名の研修修了者を輩出する予定である。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	姫路市のグループホーム連絡会でメールでの共有等行われているが互いのホームの訪問等は行われていない。			—

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	共同生活の場がすでにホームには構築されており職員はそこに関わらせてもらっていると言うスタンスである。利用者からも職員に気軽に声をかけられる関係である。			—
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	外へ出かける事は少なくなっているが家族様の来訪は多く利用者にとっては良い刺激となっている。	親族がよく来訪する事を共有出来ている。		—
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	自身で発する事が出来る利用者は少ないが行動や発言等からご本人の意向を組み取る事が出来るよう努めている。			—
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	計画作成者を中心に職員も意見を出し合って介護計画が作成されている。	施設では利用者に担当職員、計画作成者、その他ユニット職員、家族、施設管理者が関わり介護計画が作られている。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	電子記録となるが対応時の即時記録や過去の記録の確認も手元で出来る為共有は容易である。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	グループホームの枠組みの中でのサービス提供に限られてしまっている。	個別対応が出来る場合は実施。		—
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	近隣に喫茶店や買い物ができる所があり多くは無いが職員や家族様と共に出かける事もある。	立地を活かして地域資源を活用する事が望ましい。		—
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期往診に加え体調不良時にも対応できるようなシステムになっている。			—
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	医療機関との連携はうまく機能しており早期治療、早期退院支援なども行われている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	重度化、終末期のマニュアルが策定されており早い段階から家族との話し合いの場を持っている。毎回対象者が現れた際には職員研修も実施している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホームでの事故や急変時には対応できている。また対応困難なほどの事案には至っていない。			—
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	災害時 BCP 訓練や見直しを年 2 回行っておりさらに避難訓練等も実施しているが実際に外部への避難訓練は行っていない。	緊急時のそなえは出来ている。備蓄食材や保存水等もある。	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	プライバシー保護の研修も年間でスケジュール化し実施している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定時で決まっていること以外は利用者のリズムで声をかける事が出来ている。			—
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	介護業務が妨げとならない様調理専属のスタッフが配置されている。外食やレク食等イベントも実施している。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—

29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	決められた食事に対して摂取量の把握を行い体重管理、体調管理が出来ている。			—
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一部の口腔ケアが不完全な時がある。難しい利用者は介助にて実施している。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	トイレ誘導し便器での排泄を促している。また夜間においてもそれぞれの状態に応じた排泄支援が可能である。		☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	週2回入浴できるように支援しその中で利用者本人の希望を含み入浴されている。			—
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	昼間の眠たい時間等にも配慮した状況となっている。夜間においても眠れない方への対応等安心出来るよう取り組んでいる。			—

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	医療、薬局との連携により利用者本人に必要な服薬の支援が出来ている。		☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者は楽しく過ごされているように見える。	写真で確認できます。様々な取り組みがされている。		—
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	一部の利用者しか外出を日常と出来ていないが外気に触れる機会を作っている。	気候の良い時は積極的に外へ出れるような環境が望ましい。		—
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようにしたりできるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	利用者の一部にはお金を持つ事で安心される方が居り個別に応じた支援を行っている。			—
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	機会が少なく出来ない。面会が多い為家族を心配して電話をかけたいと言われる利用者も少ない。			—

39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。 共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	適宜レイアウトの変更を行い調整している。 混乱が生じた場合も職員の対応でサポート出来ている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ケアプランに沿ってご本人の生活に対する希望や思いを確認するようにしている。			—
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	アセスメント面談時や契約時にご本人やご家族様よりお話を伺いアセスメントシートを用いてサービスに活かせるようにしている。			—
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	医療連携により不安のない状況となっている。体調不良時にも十分対応出来ている。		☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ホーム内での役割を持っている方については継続して取り組むことが出来ている。			—

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室に持ち込む物は危険物でない限り自由にそれぞれの違った空間が出来上がっている。		☒ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	—
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病気の進行により難しくなった方がほとんどで家族やスタッフの支援が無ければ戸外に出る事は難しい。	外に出たいと言う思いは忘れないようにする。		—
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一部の方は自分の持つ力と自分の出来ると思っている事の乖離が大きく職員のサポート無しでは楽しみごとに参加する事すら難しい。			—
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができる	☒ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会話や生活を見ていると生き生きとしている姿が見られる。		A. 十分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	—
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的に単独での行動は出来なくなっている。その為外部交流が少なくなっている。	外部との交流があれば良いが何処も難しいと聞く。		—

49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくる ことができる	☒ A. 十分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	ご家族様のヒアリングやホームでの利用者の様子を見ると GH で生活を安定して行っている事の良さを感じる事が出来る。	現状で利用者が途絶えていない事を考えると地域でのホームの役割は果たせているよう。	☐ A. 十分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	—
----	----	--	---	---	--	---	---

令和 6 年度分

利用者家族等アンケート結果集計表			
事業所名	愛の家グループホーム姫路下手野	調査対象者母数	18
		有効回答数	12

番号	質問内容	回答			
1	職員は、ご家族の困っていること、不安、求めていること等の話をよく聞いていますか？	1 よく聞してくれる 7	2 まあ聞いてくれる 4	3 あまり聞いてくれない 1	4 全く聞いてくれない 0
2	事業所でのご本人の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、ご家族に報告がありますか？	1 よくある 3	2 ときどきある 7	3 ほとんどない 2	4 全くない 0
3	職員は、ご本人の介護計画をご家族にわかりやすく説明し、一緒に、内容に関する話し合いをしていますか？	1 説明を受け一緒に話し合っている 7	2 説明は受けたが話し合っていない 4	3 説明も話し合いもない 1	
4	職員は、ご本人の思いや願い、要望等をわかってくれていると思いますか？	1 よく理解している 6	2 まあ理解している 5	3 理解していない 0	4 わからない 1
5	職員は、ご家族やご本人のその時々状況や要望に合わせて、柔軟な対応をしていますか？	1 よく対応してくれる 7	2 まあ対応してくれる 5	3 あまり対応してくれない 0	4 全く対応してくれない 0
6	事業所のサービスを利用することで、ご本人の生き生きとした表情や姿が見られるようになりましたか？	1 よく見られる 4	2 ときどき見られる 5	3 ほとんど見られない 1	4 わからない 1
7	ご本人は、職員に支援されながら、戸外の行きたいところへ出かけていきますか？	1 よく出かけている 0	2 ときどき出かけている 7	3 ほとんど出かけていない 1	4 わからない 5
8	事業所のサービスを受けていて、健康面や医療面、安全面について心配な点はないですか？	1 全くない 4	2 あまりない 5	3 少しある 3	4 大いにある 0
9	通いの場やグループホームは、ご家族が気軽に訪ねて行きやすい雰囲気ですか？	1 大変行きやすい 7	2 まあ行きやすい 4	3 行き難しい 0	4 とても行き難しい 0
10	ご家族から見て、職員は生き生きと働いているように見えますか？	1 全ての職員が生き生きしている 6	2 一部の職員のみ生き生きしている 4	3 生き生きしている職員はいない 2	
11	ご家族から見て、ご本人は今のサービスに満足していると思いますか？	1 満足していると思う 7	2 どちらともいえない 2	3 不満があると思う 1	4 わからない 2
12	ご家族は、今のサービスに満足していますか？	1 大変満足している 7	2 まあ満足している 3	3 少し不満がある 2	4 大いに不満がある 0